



Q 国民健康保険税滞納者に対する相談・対応は

A 滞納事情を確認して丁寧な対応に努めている



また、失業などで大幅な収入の減少がされた方などは、減免の申請を受け付け、調査を実施して決定をしている。

特別な事情の方は、審査委員会にて個別に検討をおこない、一律機械的ではなく、丁寧・適切な対応を心がけて計画的に納税いただけるよう対応に努めている。

紙の保険証廃止とともに短期証も廃止され、滞納者は医療機関等受診の際は、窓口で全額負担となり償還払が生じる。

国民健康保険税に滞納がある場合、滞納要因に特別な事情がないか確認することが必要と考えるが、町の相談・対応状況は。

A 町長 税の公平性の原則に基づいて適正に対応するよう心掛けている。納税義務者と個別相談をおこない、納付意欲はあるが経済的に納付が困難な方については、分割納付などの方法について誓約をいただいて、完納できるよう計画的な納付をお願いしている。

？議会のギモン？

一般質問って何？

議員が地方公共団体の執行機関に対し、行政全般について質問して考え方や方針をたやすための制度です。

事前に通告した質問内容について、1問1答方式により、決められた発言予定時間内にて質問をおこないます。

質問は議長の許可を得たのちに登壇して発言します。

Q エゾ鹿対策における金網柵の導入について

A 町計画の改訂を含めて事業実施を検討

増加傾向にあるエゾ鹿や相次ぐヒグマによる鳥獣害対策における金網柵の効果が高いことから、国の補助金を積極的に活用した整備事業を推進すべきでは。

A 町長 鳥獣害対策については町の単独事業としてワイヤーによる電気柵を中心に事業展開をしてきたが、経年劣化による断線や強風による脱線など、デメリットもあり万能とは言えないことも事実。

全国で熊の出没も相次いでいることから、安全な農作業の観点からも金網による柵については有用性が考えられる。

国の鳥獣被害防止総合対策交付金事業では、自治体の計画に取組内容が位置づけられ、取組が行われていれば、事業の採択要件を満たすことで実施することが可能となるので、今後は調査の実施に向けて検討を進めたい。

Q 鳥獣被害に関して農業者が営農を続けていけるように、国に積

極的な働きをかけていただきたい。

A 町長 猟友会の駆除協力や町の補助など対策をとっているが、一向に数が減っていない状況もある。最近は熊や外来種の被害もあるため農業被害が大きくなっている。皆さんの営農や生活を守るために、国や北海道に対して、しっかりと支援を継続してもらうために要望をしていきたい。



鳥獣被害
対策コーナー
(農林水産省HP)



条例改正

次の2議案について提案され、いずれも可決しました。

▼選挙長等の報酬手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正により、選挙執行経費の基準額が見直されたことによるもの。

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正について
人事院規則の改正により、災害応急作業等手当の国家公務員との均衡をはかることによるもの。

契約関係

▼工事請負契約の締結について
次の2議案について提案され、いずれも可決しました。

・幌岡第3幹線舗装工事
(その2)

▼物品の取得について
一般X線撮影装置の更新について可決しました。

人事案件

▼豊頃町農業委員会委員の任命
豊頃町農業委員会委員の任期満了に伴い委員を任命するもの。

原案のとおり同意しました。

なお、任命された委員は次のとおりです。(提案順)

- ・谷野 和也氏(牛首別)
- ・安達 勝氏(礼作別)
- ・相澤 博美氏(農野牛)
- ・森川 聡氏(二宮)
- ・山崎 仁志氏(十弗)
- ・永原 和也氏(北栄)
- ・井下 睦男氏(長節)
- ・日下 貴弘氏(二宮)
- ・影山 正志氏(統内)
- ・川口 重子氏(北栄)
- ・田頭 綾子氏(湧洞)
- ・山田 雅江氏(茂岩末広町)
- ・今村 典浩氏(豊頃佐々田町)
- ・相澤 和幸氏(幌岡)

その他

▼繰越明許費計算書の報告

令和7年度豊頃町一般会計予算において、翌年度に繰り越した繰越明許費について報告がありました。

※繰越明許費 年度内に支出が終わらない見込みのあるものを、翌年度に繰り越して使用する。

意見書

- ① ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ② 地方財政の充実・強化に関する意見書
- ③ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書
- ④ 令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

①④は産業厚生常任委員会にて審議した意見書案が岩井 明(いわい あきら)産業厚生常任委員長、②③は総務文教常任委員会にて審議した意見書案が大谷 友則(おおたに とものり)総務文教常任委員長からそれぞれ提案され、いずれも原案どおり可決し、関係省庁・機関に提案されました。



提案説明する岩井 明委員長



提案説明する大谷 友則委員長